

プログラム名：「文化と水と人」が交わる水の郷さわらで学ぶ、防災教育



プログラムの内容

- ▶ 観光拠点・水辺体験・歴史的な街並み・防災学習が交わる水の郷さわらを軸に、具体的/複合的に河川と防災教育が学べます。
- ▶ 雨量計や破堤実験装置の実演や、洪水ハザードマップ等の展示物を見て、防災に対する意識・知識を高める。
- ▶ 「利根川物語～川と共に生きる～」ビデオを見て現在の利根川となった経緯や、川のもたらす恵みと恐怖、洪水対策の歴史を学ぶ。

対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」】

- ▶ **ゴール 4（ターゲット 4.1）**：小中学生として必要となる災害と引き起こされる被害、対応策等の防災の基本的知識を学ぶ。
- ▶ **ゴール 4（ターゲット 4.7）**：持続可能な社会をつくっていくために災害に備えて必要な知識や技術を身につけられるようにする。
- ▶ **ゴール 11（ターゲット 11.5）**：水害による人的被害や生活環境破壊を防ぐために必要となる取り組みを学ぶ。



佐原の古い町並み



水の郷さわら全景



越水による決壊
破堤実験装置



洪水ハザードマップ

事前学習

- ▶ マップアプリで、水の郷さわらや身近な地点と水の関わりを調べてみる。
- ▶ 大雨が降ったらどのようなことが起こるのかを予想して、災害に対する取組を考える。

現地学習

- ▶ 雨をどうやって測っているのかを学ぶ。
- ▶ 洪水ハザードマップの見方を学ぶ。
- ▶ 堤防はどのように決壊するのか？を学ぶ。
- ▶ 利根川の歴史・洪水対策の歴史を学ぶ。

事後学習

- ▶ 自身が暮らす地域のハザードマップを用意し、防災に対する地域の取組を考えて、意見交換してみる。
- ▶ 川がもたらす恵みと災害への対応を考える。

プログラムのポイント！



受入人数	1グループ50名 同時2グループ
受入可能時期（休業日）	年末年始と閉館日以外 (月曜閉館：祝日の場合は翌日)
受入可能時間	9:30～16:30 標準1回1時間
体験時間	無し

対象	概ね小学校4年生以上
1人/1回 当たり料金	無料
備考 (雨天対応等)	雨天時は屋外施設見学中止

▶ 問い合わせ
 名称：道の駅・川の駅 水の郷さわら
 担当：支配人 吉田
 TEL：0478-52-1138
 営業時間 9時～17時
 休館日 月曜（祝日の場合は翌日）